広島商船高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	体育・スポーツ I
科目基礎情報					
科目番号	1931011	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般教科	対象学年	3		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	最新高等保健体育				
担当教員	柴山 慧				
到達目標					
1 自分や周囲の心身の健康・安全について理解し、適切な行動をとる。 2 ひとりひとりが主体的になって、授業におけるルールを意識し実行できる。 3 球技ではゲームを自分たちで運営できるようにする。 4 ウォータースポーツでは4泳法を習得し個人メドレーを泳げるようにする。 5 健康スポーツ島実習においては地域や社会に関連する課題の解決に向けて行動できるようにする。 6 陸上運動では自分の課題を解決できるように考えて、記録を向上させることの楽しさを体験する。 7 CLIL学習では体育やスポーツを通じて英語を活用できるようにする。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	自分や周囲の心身の健康・安全、授業のルールについてについて、自主的に率先して理解や判断のもと適切な行動ができる。	指示があった自分や周囲の心身の健康・安全、授業のルールについて理解し適切な行動ができる。	指示があった自分や周囲の心身の健康・安全、授業のルールについて理解して適切な行動ができない。		
評価項目2	率先して主体的に授業におけるルールを意識し実行できる。	指示があった授業におけるルールを意識し実行できる。	指示があった授業におけるルールを意識し実行できない。		
評価項目3	球技ではゲームや練習では、運営に主体的にかかわることができる。	球技ではゲームや練習では、運営協力的にかかわることができる。	球技でゲームや練習では、運営協力的にかかわることができない。		
評価項目4	4泳法に必要な技能を習得しているだけでなく、その技術を周囲に対して教授することができる。	4泳法に必要な技能を習得している。	4泳法に必要な技能を習得していない。		
評価項目5	率先して地域や社会の課題を解決できるように考えるだけでなく、周囲と一緒に考えながら取り組むことができる。	地域や社会の課題を解決できるように考えることができる。	地域や社会の課題を解決できるように考えない。		
評価項目5	率先してCLIL学習について、取り組むことができる。	CLIL学習について、取り組むことができる。	CLIL学習について、取り組むことができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	(1)体育の学習を通じて、運動やスポーツをすることの楽しさを体験し、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する心身を醸成する。 (2)(1)のために必要な豊かな心、生きる力および規範意識の重要性について理解しながら、主体的、計画的に自身の健康と体力向上を考えて実行できる授業を展開する。				
授業の進め方・方法	通常の授業はグラウンドや体育館などの体育施設で実技を行なう。準備運動やストレッチング、トレーニングを実施し、個人の体力や技能の向上を図るとともに、ゲーム中での技術や判断、戦術理解などの総合的な能力を体得する。天候や施設などの状況により、シラバスどおりには実施できない場合がある。				
注意点	(1) 授業時の服装は、本校指定の体操服に限る。 (2) 安全への配慮を考慮して、当然のことながら装飾品を外し、爪を切るなど自己安全管理を求める。 (3) シラバスの項目・内容を確認して、ルール等を事前に予習しておく。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション、健スポ島実習1回目ワークショップ「地域課題への気づき」	本授業の内容を理解し、地域や社会の課題について気づくことができる	
		2週	体力テスト	体力テストの意義や必要性について理解している	
		3週	体力テスト	体力テストの各調査項目について適切な実施方法を実行している	
		4週	バレーボール (CLIL学習)	バレーボールの基本用語やルールについて理解している	
		5週	バレーボール (CLIL学習)	ゲーム中にレシーブ、トス、アタックなど適切なプレーを選択している	
		6週	バレーボール (CLIL学習)	審判や記録係などゲームの運営に積極的に協力している	
		7週	バレーボール (CLIL学習)		
		8週	バレーボール (CLIL学習)		
	2ndQ	9週	ウォータースポーツ	4泳法について効率的なフォームを習得し、個人メドレーを泳ぐことができる	
		10週	ウォータースポーツ	自分に合ったウォータースポーツ、マリンスポーツについて考えることができる	
		11週	ウォータースポーツ		
		12週	ウォータースポーツ		
		13週	ウォータースポーツ		
		14週	健スポ島実習2回目ワークショップ「アクションプランの決定」	地域や社会の課題を解決するアクションプランの合意形成に参加している	
		15週	前期のまとめ	前期の学習内容について理解している	
		16週			

後期	3rdQ	1週	陸上競技	陸上運動の基本用語やルールについて理解している
		2週	陸上競技	記録を向上させるために自分で考えて練習している
		3週	陸上競技	効率的な走りのフォームを理解し、それに近づけようとしている
		4週	陸上競技	
		5週	陸上競技	
		6週	クラスマッチの練習（屋内）	クラスマッチに必要な練習計画を立てて実行できる
		7週	クラスマッチの練習（屋外）	クラスマッチに必要な練習計画を立てて実行できる
		8週	健スポ島実習3回目「アクションプランの実行」	アクションプランについて積極的に実行している
	4thQ	9週	卓球	卓球の基本用語やルールについて理解している
		10週	卓球	適切なフォームでラリーを続けることができる
		11週	卓球	ゲーム中にスマッシュを打つことができる
		12週	卓球	
		13週	卓球	
		14週	健スポ島実習「アクションプラン実施の評価」	実施したアクションプランについて自己評価し他者の評価を認識している
		15週	後期のまとめ	
		16週		

評価割合

	試験	レポート課題	発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	20	0	50	0	30	100
体育	0	20	0	50	0	30	100
	0	0	0	0	0	0	0